



今年8月から医療NGO「AMDA」の緊急救助事業部のスタッフとして働き始めた植草和則さん(39)の写真。10月中旬から約3週間、コソボ自治州にAMDAが開設した四つの診療所の落成式に立ち会った。

豪州への留学や産業廃棄物業でのアルバイト経験などから環境問題に興味があった。分野は少し違うが、「理論だけでな

く、行動が伴っている」所にひかれ、AMDAに就職した。AMDAは今回、紛争などで破壊されたコソボの医療施設を再建、地域に密着した診療所ができるように整備した。大きな問題が起きると、人々の目はそちらに行ってしまう。落成式のスピーチでは、最後に『「これからは我々はあなたがたのことを忘れません」と伝えました」

コソボ、これからも忘れまい